



市・有形文化財 美術工芸品（絵画）

紙本著色 庶民風俗図屏風

魚津市上村木（常泉寺）

3月3日の桃の節句の雛祭を描いた肉筆浮世絵の1隻の屏風である。女性のみ描かれているのはそのためで、髪型の特徴から元禄時代以降のものと考えられるが、江戸時代半ばごろの庶民の風俗を垣間見ることのできる貴重なものである。

金・銀泥がところどころに使用され、彩色も豊富で、小袖の柄や襷なども細部にまで美しく描かれており、人物にも生き生きとした動きが感じられる。しかし、多くの剥落や破損のため、後世の加筆があり、特に顔の表情に多く見られるのが残念なところである。